



春里中学校

学校教育目標
 自ら学ぶ生徒
 思いやりのある生徒
 健やかな生徒

学校だより 令和6年度 8&9月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

あなたはもっと自分を褒めていい

校長 小倉 弘一

内閣府の「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」によると、わが国の若年層は、他国に比べて自分に自信がもてない人が多い傾向にあるようです。

この傾向は、教壇に立ち続けた私の感覚だと、30年ほど前から見られ始め、ここ10年ほどは顕著に感じていました。原因については、多くの社会学者が様々な学説を述べています。

謙虚さを美德とするお国柄は誇りですが、自己肯定感が低いことによる弊害は多いものです。社会や集団が陰鬱な雰囲気になることや、成長の可能性を自ら一定程度で留めてしまうこともその一つです。もし、自己肯定感がもっと高くなれば、それ自体が「幸せを感じながら人生を送れる(Well-being)」とも言えるのではないのでしょうか。

そのために、生徒や、生徒を支える保護者・地域のみなさんや教職員には、次のことを呼び掛けたいのです。

①物事の考え方を、ポジティブシンキング（前向き思考）に転換しよう。

まずは、自らが、物事に対する考え方や捉え方を、明るく積極的に前向きに転換する努力が大切です。

②成功体験は小さいものほど、自ら または周囲が褒めることを習慣化しよう。

自信という感情は、育むものです。年長者や成功者が「取るに足らない」と思えるものも、初心者や若年者にとっては「極めて貴重な最初の一步」です。自分自身や周囲が、その小さな成功体験を見逃さず、それを成長のきっかけ（チャンス）と捉えて声掛けや笑顔を当該者に向けられるかが重要です。

「自分自身に満足している」という質問に「そう思う」と答えた割合

1位	アメリカ	86.0%
2位	イギリス	83.1%
3位	フランス	82.7%
4位	ドイツ	80.9%
5位	スウェーデン	74.4%
6位	韓国	71.5%
7位	日本	45.8%

(世界7カ国の13~29歳の男女を対象)



八月の雲と校舎

本校の学校ホームページの「今週の1枚」のコーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。

